

第36回（平成7年度）東レ科学技術研究助成候補者推薦要領

1. 候補者の対象

貴学協会に関する分野で国内の研究機関において基礎的な研究に従事し、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者。

2. 研究助成金

総額1億3千万円。1件3千万円程度まで10件程度とします。

3. 推薦者

学協会の代表者および推薦委員。

4. 候補者推薦件数

1学協会から2件以内および1推薦委員から1件以内。

5. 推薦手続

所定の推薦用紙に必要事項を記載し、当会あて1部ご送付願います。

6. 推薦締切期日

平成7年10月9日（月）必着。

7. 選考方法

下記委員からなる選考委員会において、提出された書類により一次選考を行い、更に面接による二次選考を経て、評議員会において決定します。なお、二次選考対象の代表研究者の方は、平成7年12月下旬に面接をさせていただきます。

選考委員（委員長）宇井理生 猪瀬 博 有馬朗人
竹内郁夫 宗宮重行 吉森昭夫
櫻井英樹 中島尚正

8. 研究助成金の贈呈

平成8年3月の予定。

9. 推薦書提出先・連絡先

〒279 千葉県浦安市美浜一丁目8番1号
（東レビル）
（財）東レ科学振興会
TEL：（0473）50-6103
FAX：（0473）50-6082

(注) a. 候補者は、必ずしも貴会会員であることを要しません。また貴会の関連領域にある候補者についてもご配慮願います。

b. この研究助成金は、研究目的を達成するために有効に使用されるものであれば、どのように使われるものを申請されても結構です。ただし、助成金受領決定後、その用途を変更される場合は、事前に当会の承諾を得ていただきます。

助成金は使用期間の制限がありません。

c. 助成金の受領者は、研究終了時まで毎年「助成研究年次報告書」を、また研究終了時に、「助成研究終了報告書」を提出していただきます。

d. この助成金は、所得税法（第9条第1項第13号二）の規定により非課税となっています。

第36回（平成7年度）東レ科学技術賞候補者推薦要領

1. 候補者の対象

貴学協会に関する分野で、下記に該当するもの。

- (1) 学術上の業績が顕著なもの
- (2) 学術上重要な発見をしたもの
- (3) 重要な発明をして、その効果が大きいもの
- (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの

2. 科学技術賞

1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円（2件前後の予定）。

3. 推薦者

学協会の代表者および推薦委員。

4. 候補者推薦件数

1学協会から2件以内（平成6年度に推薦された候補者（注b.）は外数とします）および1推薦委員から1件以内。

5. 推薦手続

所定の推薦書用紙に必要事項を記載し、当会あて1部ご送付願います。

6. 推薦締切期日

平成7年10月9日（月）必着。

7. 選考方法

下記委員会からなる選考委員会において選考し、評議員会において受賞者を決定します。

選考委員(委員長) 宇井理生 猪瀬 博 有馬朗人
 竹内郁夫 宗宮重行 吉森昭夫
 櫻井英樹 中島尚正

8. 科学技術賞の贈呈

平成8年3月の予定。

9. 推薦書提出先・連絡先

〒279 千葉県浦安市美浜一丁目8番1号

(東レビル)

(財)東レ科学振興会

TEL: (0473) 50-6103

FAX: (0473) 50-6082

- (注) a. 候補者は、必ずしも貴会会員であることを要しません。また貴会の関連領域にある候補者についてもご配慮願います。
- b. 推薦を受けた候補者は、その年度および次の

年度にわたって選考の対象としております。したがって平成6年度に推薦された候補者については、平成7年度候補者として再度推薦の必要はありません。ただし平成6年度の推薦以後において、追加すべき顕著な業績又は発表や受賞があった場合は、平成6年度推薦書(コピー)に加筆して当会あてご送付願います。

- c. 受賞者は、原則して1件1人とします。特に複数であることを必要とするときはそれらの研究者の寄与が同等であることを示して下さい。ただし、この場合でも1件として取り扱います。
- d. この科学技術賞は、所得税法(第9条第1項第13号二)の規定により非課税となっております。



ADEOS-II搭載 GLI, AMSR の研究公募について

宇宙開発事業団では、1999年打ち上げ予定の環境観測衛星 ADEOS-II に搭載する宇宙開発事業団のコアセンサ、グローバル・イメージャ (GLI) 及び高性能マイクロ波放射計 (AMSR) に関する RA (Research Announcement) を行い、標準データセット作成のためのアルゴリズム開発を行う研究者を国内外の個人あるいは団体を対象に広く募集する予定です。地球環境観測へのリモートセンシング技術利用に対し、創造的かつ建設的な研究の応募を期待します。

1. センサ概要

GLI は、陸、海といった地球表面あるいは雲等からの太陽反射光あるいは赤外放射光を多波長で観測することで、生物に関する様々な量(クロロフィル色素、有機物、植生など)や温度、雪氷、雲の分布・分類等を高精度に測定するセンサであり、AMSR は、地表及び大気から自然に放射される微弱なマイクロ波をマルチバンドで受信することにより、主として水に関する

様々な量(積算水蒸気量、降水量、海面水温、海上風、海水など)の観測を行うセンサです。

GLI は全地球規模の炭素循環や気候変動、AMSR は全地球規模の水循環とエネルギー循環の理解に寄与するためのデータの取得を目的としています。

2. 応募期間

RA の発出は本年7月～8月、プロポーザルの締め切りを11月末に予定しています。

3. お問い合わせ先

東京都港区六本木1-9-9

六本木ファーストビル

宇宙開発事業団地球観測データ解析研究センター
 RA 事務局 担当: 塚本、大木

TEL: 03-5561-8769, 8771

FAX: 03-5573-4248

E-mail: ADEOS2RA@eorc.nasda.go.jp

解析研究 担当: 上杉 TEL: 03-3224-7055

研究推進 担当: 小川 TEL: 03-3224-7043